

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成31年・令和元年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/10 大般若大施食会法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- ※春彼岸会 筆供養法要
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 新本堂落慶法要・諒道得度式
大施食会併蚕影山例祭法要
- ※6/22~6/23 第57回群馬緑蔭禅の集い
- 7/13~7/16 京浜地区孟蘭盆会
- ※8/1~8/2 第38回子供禅の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 孟蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10/27 檀信徒研修旅行
- ※11/25 宗務所布教部「禅をさく会」
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・華道教室
- ※は、本寺仁叟寺様にて修行

龍源寺新本堂落慶法要圓成



落慶当日の新本堂

新本堂の工事が完了し、本年4月29日に落慶法要が本寺仁叟寺住職渡辺啓司老師ご導師のもと修行されまし

た。法要に併せまして、住職の子供で現在多胡小学校5年生の渡辺諒道君が、仏門に入る第一歩となる儀式である得度式もつとめられました。

当日は、来賓寺院として前橋市長昌寺栗木信昌老師、高崎市向雲寺山内謙三老師はじめ近隣の御寺院様25箇寺の皆様のご法助を頂戴致しました。また来賓として龍源寺開基家門奈氏ご末裔窪田広様はじめご親族の皆様方、仁叟寺矢島正義総代長、新井徳衛前総代長、向井敏昭総代人、地元白田幹男多胡地区区長、梅花講の皆様方、施工に携わりました宮大工堂宮入秀社寺建築株式会社入内島秀男棟梁を中心とした業者の皆様方、天井画を奉納された筑井孝子先生、達磨襖絵を奉納された新井慈観先生のほか、住職と高校時代の親しい同級生であり、仁叟寺大節分会でもご来山いただいております清水真人県議に、ご臨席を賜りました。（なお清水真人氏は、今夏の参議院議員選挙に立候補されております）。

龍源寺檀信徒を代表し、出牛裕一総代長をはじめ本堂建設委員会、護持会役員が中心となり、檀信徒はもとより親族、友人、参詣の皆様等、檀信徒数を有に超える120名程の方々のご参加を迎え、盛会裏に慶祝法要を勤めることが出来ました。

当山では、開山以来凡そ380年振りの大法要となりました。無事

圓成出来ました事に、この場を借り、改めまして深く感謝の意を表します。
合掌

上毛新聞記事



本堂落慶法要画像



右) 落慶法要導師を勤められた御本寺仁叟寺老師
下) 貫首表彰状を授与する向雲寺山内謙三老師
左) 挨拶をする清水泉議



上) 表彰される堂宮入秀社寺建築株式会社入内島秀男棟梁
右) 祝辞を述べられる曹洞宗審事長昌寺住職栗木信昌老師
下) 恒例の蚕影山例祭及び先祖供養もつとめられました



渡辺諒道君 得度式修行

住職の子供で、現在多胡小学校5年生の渡辺諒道君が、仏門に入る儀式である得度式を落慶法要に併せて修行いたしました。曹洞宗宗儀に則り法要が行われ、新たに「大基諒道上座」という僧名も授与されました。ご随喜された御寺院の尊宿方、式を温かく見守って下さった皆様方、有難うございました。また、宜しくお願い申し上げます。



お拜は合掌
と共に大切
な挨拶です



当山開基門奈家 開基塔除幕式開眼会供養法要



↑ 住職、開基家ご末裔門奈氏、窪田氏、出牛総代長、多胡石材産業株式会社酒井社長と共に除幕式

として開基家ご末裔の皆様が引き続きご参列されました。ほか、開基塔は多胡石材産業株式会社様が施工され、立派な御影石製五輪塔型の石塔が建立されました。誠に有難うございました。

龍源寺本堂落慶法要に先立ちまして、当山開基門奈家のご末裔である門奈様、窪田様ご臨席のもと、開基塔除幕式並びに開眼会供養法要が執り行われました。

当山は江戸時代より当地を治めた甲府勤番である旗本の門奈六左衛門公が開基となり、寺院建立がなされました。開基家裔孫である窪田広様とは、当山ホームページを通してご縁を結ばせていただき、施餓鬼会に併せ講師として歴史講演を賜ったことにもございます。

また、窪田広様ご夫妻が今回の新本堂建立に際しまして、多額のご浄財をご寄進され、開基塔を新本堂前に新たに建立いたしました。本堂落慶法要では来賓と

当山新本堂天井画 筑井孝子天井画展開催



上) 天井画展で披露された当山天井絵サンプル
下) 五月七日に行われた筑井孝子先生お弟子さんらによる遠足

筑井孝子先生により、龍源寺新本堂内陣の天井画が奉納されました。中央には、龍源寺より「龍」の絵を配し、その周囲には花鳥風月、自然豊かな当地の草花が描かれております。また、お蚕様で繁栄した歴史より、多胡早生を食べるお蚕様や繭の絵も納められました。

本堂落慶前、4月5日～7日の3日間に亘り、披露を兼ねて筑井孝子龍源寺天井画展が開催されました。筑井先生のお弟子様や孫弟子様はじめ、延べ100名を超える多くの方々が見えられ、当山の天井画をご覧になりました。また、5月7日には、筑井先生が描かれた前橋けやきウォークの壁画と共に、当山にも遠足で見えられ、天井画を見、本尊様にお詣りをしていただきました。

先生にはお忙しい中、天然の顔料や漆を使用した素晴らしい天井画を御奉納いただき、かつまた檀信徒の皆様へと、天井画ファイル等の記念グッズも頂戴いたしました。当山では落慶資料や報告と共に、ご寄進賜りました皆様へ配布させていただきました。有難うございました。



↑ 本堂内陣天井画

総代長及び総代人交代報告

落慶法要に併せ修行いたしました式典並びに護持会総会にて、故小林茂総代長の跡を引継ぎ、多年に亘り総代長の任をつとめられました出牛裕一様が、本堂落慶を一つの区切りとして退任されました。出牛様は、本堂建設委員及び当山責任役員もつとめられました。

また、後任の白田博様は、総代人を長年つとめられ、本年度より新総代長として菩提寺護持にご尽力賜ります。あわせまして、新総代人として、多胡地区の



篠崎悦一様がその任に当たります。出牛様は護持会顧問として、また新たにお世話になります白田総代長、篠崎総代人、宜しくお願い申し上げます。

上) 式典にて御礼挨拶を行う出牛裕一前総代長
下) 式典にて就任の挨拶をする白田博新総代長

龍源寺総代人一同

白田 博 木村照夫 篠崎悦一

当寺本堂建設委員会 御礼及び解散のご報告

委員長) 出牛裕一 副委員長) 白田博 木村照夫 監査) 田端米治 顧問) 小林茂
委員) 田中純示 白田隆一 金井邦夫 出牛均 白田幹男 篠崎悦一 田中道教

平成27年4月29日より発足いたしました龍源寺本堂建設委員会。上記の皆様方にご尽力いただきまして、本年4月29日の落慶法要まで無事に事業を進めることが出来ました。その間、多くの会議での慎重審議は勿論、おてんま清掃作業、引越し作業、研修旅行等、様々な場面でご配慮いただきました。本法要でも檀信徒の中心となり、お手伝いを賜りました。落慶法要を区切りとして解散となりました。茲にご芳名を記し、顧問故小林茂翁の冥福を祈念し、御礼申し上げます。

行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

長きに亘りお世話になりました新本堂建設事業。平成最後となる4月29日に、盛会裏に落慶法要を勤めることが出来ました。檀信徒始め有縁の皆様にご挨拶申し上げます。

また、当日に見えられなかった方には、住職より直接御礼を申し上げたく、一軒一軒、朝掘りの筈と報告書、表彰状を持参し、10連休を利用し、廻らせていただきました。なお、県外の皆様には宅配便にてお送り申し上

げました。

5月より新元号「令和」に改元となりました。新本堂建立が最終ではなく、これから当山の新たな歴史が刻まれて参ります。入内島棟梁を中心に業者の皆様方には、匠の技を以てご尽力賜り、数百年遺ることの出来る立派な堂宇が完成いたしました。引き続き、檀信徒に寄り添い、地域と共に活かすことの出来る寺院として精進を重ねます。有難うございました。合掌